



学校
だより

月にみがきて

令和6年10月25日

千曲市立更級小学校

<文責>

教頭：青木 猛

「学力向上」に向けて 10月10日外国語の研究授業より

「きいて！わたしの町じまん」

10月10日木曜日に、更埴地区の各校の教職員が集まり「教育課程研究協議会」という授業研究会が行われました。更級小学校では5年1組が外国語の授業を野澤瞳教諭が授業者として授業公開を行い、更級小学校の外国語の授業実践を通して授業研究を深めました。更埴地区の教職員55名が更級小学校の授業研究会に参加しました。



授業の単元名は「きいて！わたしの町じまん」。この単元では、千曲市、坂城町のALTの先生方に、主に千曲市の自慢・紹介を話す文章をつくり、ペアで練習をしたりタブレット端末に練習してきた自分の映像を撮りため、相手に伝わりやすくなっているかを確認したりしてきました。

本番の授業では、授業公開に千曲市、坂城町のALTの先生方が参加していましたので、最後に自分でALTの先生に紹介文を話しました。緊張しながらも話が伝わると「やった」、「できた」という笑顔と達成感が5年生の表情から見る事ができました。参加した先生方からも、授業研究会で「ALTの先生に実際に紹介した場面は素晴らしかったです。」とのご意見を多数いただきました。



更級小学校の外国語の研究テーマは「友との関わりを大切にしまなびあい ～次につなげるためのふり返りの充実～」です。すなわち、外国語の授業を通して、技能の習得や向上を友とつながり合いの中で力を高めていくというものです。そこには、コミュニケーション力や相手やペアを思う気持ちも入ってきます。また、更級小学校では「学びあい」「振り返り」を授業で取り入れています。これも友とのつながりから、つけるべき力を身につけていく手立てです。

外国語の授業において「学力向上」に取り組むよい実践例を示すことができました。大勢の先生たちが参観する中で5年1組のみなさんはよく頑張ってくれました。また、お疲れ様でした。

棚田での稲刈り・脱穀

5年生の棚田体験学習は、クライマックスの局面を迎えました。



稲刈りは、9月27日(金)、脱穀は10月11日(金)に天候に恵まれて実施できました。稲刈りでは、最初、稲刈り鎌を恐る恐る使って刈っていた児童たちでしたが、慣れてくるにしたがって「ザクッ」と気持ちの良い音を立てながら夢中で作業を行うことができました。また、脱穀では、刈り取った稲の天日干しがポイントで、実施をする日が天候次第という難しさを知ることになりました。そのような中、脱穀作業を無事行えてよかったと思います。脱穀作業では、稲わらを運んだり、ハーベスタに通したりする作業をみんなで協力して熱心に取り組むことができました今年度も、名月会や市農林課の方々にお世話になりながら、日本遺産認定の棚田での米作りという他の学校の児童では味わえない貴重な体験を行うことができました。関係者の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。11月29日(金)には、お世話になった方々をお招きして、収穫祭を行う予定です。

時計の寄付がありました 10/17(木)



目録

一、壁掛け時計 十個

右 贈呈いたします

令和六年十月十七日

有限会社海野鉄筋工業所
代表取締役 海野 政也

千曲市立更級小学校
校長 松澤 幸嗣 殿

10月17日(木)に学校運営委員でもある海野様(海野鉄筋工業所様)より八十二銀行の仲介で大型時計10個の寄付をしていただきました。

地域の皆様に愛されている更級小学校であることを再認識するとともに、私たちに地域に対して行っている「さらしな楽校」の取り組みなどでその恩返しをさせていただきたいと思います。いただいた時計は各教室に設置し、児童のみなさんの学習環境を整えます。

縄文まつり集会① 10/17(木)



さる10月17日に、村長様、長老様をお招きしての「縄文まつり集会」が行われました。

縄文まつりの意味の説明や縄文時代には、この更級の地に人が住んでいたこと、その人々は、冠着山の木の実や千曲川の魚など自然豊かなこの地で生活していたこともお話しいたされました。

そして、実際に「縄文まつり」の「豊穰儀礼」の練習をしました、また、別の日には、「縄文まつり」で歌ったり演奏したりする歌の練習も行いました。

今年度の縄文まつりは、10月27日(日)に行われます。お家の皆様には、お知らせの通知を配付してあります。奮ってご参加ください。

よろしくお願いいたします

なお、解散時刻が昨年度より早まっておりますのでご確認ください。

当日は、天候に恵まれ、地域を盛り上げるみなさんの姿を期待しています。頑張りましょう!!